

その他の家電製品の話

掃除機の使い方

掃除機(以下クリーナー)は、かなり電気を消費する家電製品です。おおよそですが家庭用のクリーナーでは1kwの電気を消費します。電流値では10A(アンペア)にもなりますが、それだけに時間を短縮して効率的にお掃除をすることが省エネにつながります。又、通常はコードがコードリールに巻きついて収納されていますが、コードを全てコードリールから出してお掃除をする方が良いでしょう。試しにコードをコードリールに巻きつけたままで10分程度お掃除をしてみてください。室内温度が15 程度のときに、コードの温度は40 程度に上昇しますが、これは電気のエネルギーが電源コードの抵抗によって発熱する現象であり、この熱になった部分のエネルギーはいわば無駄なエネルギーに変換されています。安全上でもコードリールからコードを引き出して御使用になるのが賢明です。

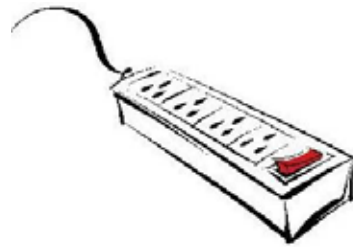


電源延長コードの選び方

家電品の電源コードの長さが足らずに延長コードを使用する場合がありますが、出来たら線の太いコードを使用すると良いかと思えます。通常であれば15A規格のコンセント付きの電源コードが販売されていますので、なるべくそれを購入して御使用になるのが賢明です。掃除機の例でも同じですが、使用する電気器具により1000W以上の電力を使用する家電品が多くなってきています。電流値に直すと10Aを超えますが、これだけの電流量が流れますと、細い電源線では発熱量が多くなり、又電線の定格値を超える電流が流れて危険です。ちなみに御家庭にあるホットプレートやIHジャー炊飯器を延長コードに接続して使ってください。使用中に電源コードが暖かくなるのが判ります。これは電線の抵抗により抵抗熱が発生しており、言わば電気エネルギーが一部無駄な熱に変換されている状態になっています。又、コンセントに差し込む電源プラグはしっかりと差し込んで使うことも同じ意味があり、安全上でも大切なことです。

待機電力のカットの為に

コンセントにさしっぱなしの電気製品はたくさんありますが、ほとんどの製品は待機電力を消費しています。省エネ法の縛りで、新しい製品は待機電力が1w以下になっていますが、家庭で使用している電気製品すべてがそうとは限りません。いちいちコンセントを抜き差しするのも面倒ですが、電源のON-OFFを行うスイッチ付きのコンセントやタップを購入して使用したら便利です。ちなみに我が家のパソコンセットは18wの待機電力を使用しており、スイッチ付きコンセントに替えて省エネをしています。(待機電力は年間の電気代の7%以上とのデータがありますので、馬鹿にできない量です)



VTRとDVD用に購入したタップ(費用は598円)

PCのセットの電源コンセントです、使用しないときはスイッチをオフにしています

